

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

vol. **12**
2021.6

Rotary International District 2740

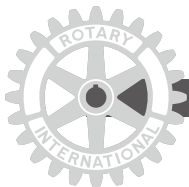


中古庭ダム周辺のあじさい

Rotary



2020-2021 年度 国際ロータリー第 2740 地区
ガバナー 花島 光喜



2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは機会の扉を開く

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ	1
ガバナーメッセージ	2
ガバナー補佐退任挨拶	3
地区委員長退任挨拶	8
第9・10 グループIM 報告	16
米山記念奨学会報告	17
国際青少年交換委員会報告／地区大会報告	18
親子ロータリアン対談	19
会員数・出席報告	21
新入会員・物故者・寄附者紹介	22
ふるさと鹿島の原風景・編集後記	裏表紙

Governor's message



新型コロナウイルス対応に 苦労・思い出の一年間

2020-2021 年度 第 2740 地区 ガバナー **花 島 光 喜**

2740 地区会員の皆様、こんにちは。私がガバナーを務めさせて頂く最後の月が訪れました。昨年 7 月から、2020-2021 年度ホルガー・クナーク RI 会長のテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」と、地区では、①RI テーマを理解し、地域の特性にあった活動。②DLP では、ロータリーの原点である「親睦」と「職業奉仕」を根幹とし、世界及び地域社会で良い変化を生み出す。③CLP では、それぞれが「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブの目標でスタートいたしました。しかしながら、日本で最初に新型コロナウイルス患者が報告されたのは「2020 年 1 月 16 日」です。私が、国際協議会のアメリカ サンディエゴに出発する 2 日前のことでした。

2020 年 7 月新年度がスタート、新型コロナ蔓延でガバナー公式訪問の件で、56 クラブの会長様に電話させて頂き、新型コロナでクラブ例会が休会でも会長・幹事・会長エレクトの協議会は全クラブを訪問し、実施することが出来ました。クラブ例会の公式訪問は、46 クラブに出席、どうしても 10 クラブは出席出来ませんでした。

また、新型コロナウイルスの猛威で、色々なセミナー・地区行事・青少年活動・インターシティミーティング・周年事業など、感染蔓延にともない経済的にも非常に厳しい事態が続く、すべてにおいて大変な年度でありました。

このような年度で、パストガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニー・ガバナー補佐・地区委員長・委員、会長・幹事・会員の皆様に大変迷惑をお掛けし、誠に申し訳ございませんでした。その中でご支援頂きました方々にお礼と感謝を申し上げます。ありがとうございました。

今年度、①ローターアクト新クラブ（鎮西学院大学ジャズアンサンブル RAC）を設立して頂きました。②『RLI』設立のため今年度 20 名のファシリテータを養成して頂き、次年度より 30 名となります。③戦略計画委員会につきましては、今年度は 31 クラブ設立頂き（合計 40 クラブ）、次年度は 16 クラブ設立で、やっと地区全体に「戦略計画委員会」が出来ます。④最後に、今年度新規に計画致しました《ワン・コイン BOX》にロータリアンの皆様から「35,270 ドル：3,773,914 円」（3 月末）、「44,534.76 ドル：4,765,219 円」（6 月末）見込んでいます。ご協力ありがとうございました。感謝申し上げます。

ガバナー事務所の迎地区幹事、馬場会計長、織田事務局長、平川副幹事、山下副事務局長、森副会計長を初め、事務局の小寺さん・片桐さん本当にご協力頂きありがとうございました。わがままな私のお願いにさぞ大変ご苦勞された事と思います。パストガバナー、ガバナー補佐、地区委員長・委員の皆様、クラブ会長・幹事の皆様、地区大会では、住江実行委員長、荒木・藤永副実行委員長、各委員長の皆様、ホストクラブ鹿島 RC の皆様、コホストクラブ有田 RC・武雄 RC・嬉野 RC・大町 RC・太良 RC の皆様、ご協力ご支援頂きましてありがとうございました。感謝・感激するばかりでございます。

私も、2017～2018 年度ガバナー補佐、2018～2019 年度からガバナーノミニー・ガバナーエレクト・ガバナーと 4 年間ロータリーの勉強をさせて頂き感謝申し上げます。後期高齢者となった年齢で、ガバナーと言う大役を仰せつかり、皆様の協力とご支援で何とか終わりに近づき、この経験で少しでもクラブ・地区のため頑張っていくつもりでございます。僕のこれからの人生も変わっていくと思います。

3 年間、ご指導ご協力頂きましたロータリアンの皆様ありがとうございました。

『共にこの難局を乗り越えましょう』

*ロータリアンに今出来ることは自らが『ウイルスに感染せず・人に感染させないことに最大限注意しながら、我らが生業を守ることではないでしょうか。』

このことが今できる最大の職業奉仕であり、社会奉仕であると考えます。

ガバナー補佐退任挨拶



第1グループ ガバナー補佐 古川 眞澄 (多久 RC)



2020-21年度第1グループのガバナー補佐生活はコロナウィルスに始まりコロナウィルスに終わるという大変な年度でありました。振り返って見ても特に重要なことを成し遂げたという実感もなく、淡々と日々が過ぎていくという感じでありました。ただ第1グループの皆様にはクラブを訪問するたびに浅学非才の私に会長幹事さんをはじめ会員の皆様に丁寧なおもてなしをいただいたことが一生の思い出となりました。皆様には心より厚くお礼を申し上げます。

少しでも皆様のお役に立ちたいと思っておりましたが、コロナウィルスの影響で合同例会やインターシティミーティングをやむを得ず中止することとなり年度のプログラムを実行することができなかったことを後悔しております。

クラブでの例会も休会が多くなり、私のロータリー人生33年目でこれほど例会を休んだことは初めてのことでありました。また地区のセミナー等に出席することも少なく、ガバナー補佐の会議も数回で終わることになりました。

コロナウィルスへの恨み言ばかりになりましたが、これからのロータリーを考える一つのきっかけになったのではと思います。2035年までにロータリー人口が半減するという予測が出ております。「今後は若い人たちを多く勧誘し入会させる必要がある」と花島ガバナーは言われました。ロータリークラブ存続のために一段と努力することが求められております。若い人たちにロータリークラブをアピールしていくことが入会につながると信じて、これからも皆様と一緒にロータリー活動を共に頑張りたいと思います。

花島ガバナー様、迎地区幹事様には1年間ありがとうございました。各グループのガバナー補佐の皆様、各クラブの会長様、幹事様も大変お世話になりました。

心より厚くお礼を申し上げますと共にクラブのご発展と皆様の今後のご活躍をご祈念申し上げ退任のご挨拶とさせていただきます。



第2グループ ガバナー補佐 森永 太 (佐賀西 RC)



世界中に猛威を振るう新型コロナ禍の中でスタートした年度でありましたが、今に至ってもまだワクチン接種は遅々として進まず収束の兆しは全く見えない状況です。ロータリーの行事の多くも変更、中止を余儀なくされ、こうした中での花島ガバナーのご苦勞は大変なものであったろうと推察いたします。

クラブの例会の開催については各クラブの自主的な判断にお任せするという事になり、中にはしばらくの間例会を中止したクラブもありました。こうしたことで、ガバナー補佐として各クラブに対的確な助言を行えなかったことを深く反省する所です。

またガバナーから一任されました第1グループ、第2グループ合同のIMの開催については、第1グループの古川ガバナー補佐と相談の上、昨年の内に中止を決定いたしました。その最大の理由は、ロータリーの行事の中からクラスターが出るのは絶対避けなければならない。ロータリー会員の皆様の安全を守ると共に、ロータリーの社会的信頼を損なうことがあってはならないとの思いからでした。結果的には良かったと思っています。

原稿を書いている今、四月末の時点で、コロナ感染の第3波を受け長崎・佐賀県共に過去最多の感染者を記録し地区大会も予断を許さない状況となってきました。5月22日に無事地区大会が開催されることを願うと共に、ロータリー会員の皆様が健康にお過ごしになれることを祈り退任の挨拶とさせていただきます。

ガバナー補佐退任挨拶



第3グループ ガバナー補佐 **横岳 保雄** (有田 RC)



百年振りの感染症が猛威を振るい、国家の存亡さえも左右する程の希有な時代に、縁あって第2740地区第3グループのガバナー補佐を拝命致し、及ばず乍ら各クラブ訪問まで何とか先輩諸氏のご助言を仰ぎ、各クラブ各様の秀でたところは更に進むべき道を探し乍ら試行錯誤を繰り返し、一方で課題があれば重荷にならない範囲での改善をと、俄仕立ての小さな目標を掲げて進まんと致しましたが、不肖私の不摂生で体調不良に陥り心ならずも、花島ガバナーを初め迎地区幹事、平川副幹事、各クラブの会長幹事に多大なご迷惑をお掛け致しました事、この場をお借りして深くお詫びを申し上げます。

今後の事につきましても大変差し出がましく恐縮でございますが、社会全体が浮足立っており、予定されております重要な諸行事も又然り、開催の是非の判断すら得体のしれない閉塞感に覆われて執行部の皆様のご心痛は察するに余りあるかと思っておりますが、世の移ろいは良くしたもので「一陽来復」の如く、やがては自然に穏やかな日々が巡って来るものと確信を致しております。

願わくば、全ての会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、次にお会い出来る日を楽しみにしております。



第4グループ ガバナー補佐 **山崎 高広** (伊万里西 RC)



ガバナー補佐が決定した頃に、まさかこの様な退任挨拶を行うとは、ガバナー補佐の皆さんが想像もしていなかった事と思います。

もちろん、ロータリーの全ての役員が同じ気持ちだと思います。

「コロナでガバナー補佐、楽やったやろ」

「事業が中止されて、よかったやん」

沢山の会員が本音トークで、言われました(笑)

しかし、ガバナー補佐を引き受けた以上、覚悟して1年間、役を全うしようと考えた時に、コロナで多くの事業が中止される状況の中、ガバナーはじめ、地区役員の皆さんも、調整・判断、また調整の1年間だったと、想像出来ます。

出来る事なら、完全燃焼で役を全うしたかった、それが本心です。しかし、その中でも、ガバナー補佐訪問の中で、各クラブが抱える問題を知った事だけでも、これからの、ロータリー活動の中で生かされていく事には確認できると思います。

IMを開催出来なかった第4グループの会員の皆さんには、ガバナー補佐として、力不足だったと受け止めております。

全ての関係者の皆さんに、感謝の気持ちを持って今後も頑張っていく所存です。

最後に地区の事務局の皆さん例年以上に大変だったと推察出来ます。お疲れ様でした。鹿島の地で地酒でも飲んで打ち上げが出来なかった事が、一番の心残りです。

ガバナー補佐退任挨拶



第5グループ ガバナー補佐 遠田 公夫 (佐世保 RC)



昨年のこの時期にガバナー補佐を拝命、荷の重さを感じつつスタート致しましたが、幸いに北松浦 RC の法師山・前ガバナー補佐からは心強いご助言と薫陶を賜り、更に第5グループ各クラブの会長からも身に余るご支援・ご協力を頂き、お陰で無事にフィナーレを迎えることが出来ました。心残りは5つのクラブを公式訪問以降、社会環境が激変、人との接触が制限され、IM はもとより各クラブへの再訪もままならず、補佐としての本分を十分に果たせなかった事です。忸怩たる想いが交錯するこの1年でした。

さて、今年度の地区目標は ①戦略計画委員会の設置、活動 ②女性会員を含む会員増強③ポリオ撲滅のワンコイン活動 ④財団、米山等への寄付という課題でした。

期中ながら、各クラブにその実績をお尋ねした所、それぞれに目標達成度には濃淡があり、戦略計画委員会の運営、会員増強や寄付行為に苦戦されたようです。厳しい社会環境や経営環境を勘案すると、それも致し方ない事と理解致しました。

北松浦 RC は西田会長、中村幹事の下、会員満足度の高い活発なクラブ運営が印象的で、特にポリオ・ワンコイン活動には、独特の創意工夫をされておりました。

平戸 RC では相知会長、林幹事が主導、活発な戦略計画やワンコイン活動に加え、60周年記念による財団や米山等への寄付活動にも大きな成果を上げられました。

松浦 RC は山本会長、角田幹事の下、戦略計画に基づき「変えてはならないこと、変えるべきこと」を基本理念にした8つの行動指針を確実に遂行、ワンコイン活動や会員増強にも努力されました。次年度はガバナー補佐も輩出されますが心からのエールを送ります。

佐世保西 RC では樋口会長、中村幹事の下、会員増強にはやや苦戦するもワンコイン活動を基軸に財団、米山の寄付活動にも成果を上げられました。

私の所属する佐世保 RC では加納会長、納所幹事の下、70周年記念事業と同時並行ながら会員増強以外の目標はほぼ達成、大型クラブらしい堂々たる活動をされました。

結びに、第5グループ各クラブが、社会の難局を乗り越え、更に活性化されますよう祈念申し上げ、退任の挨拶と致します。ありがとうございました。



第6グループ ガバナー補佐 緒方 信行 (佐世保北 RC)



この1年間は、コロナ禍で色々な行事、委員会等が中止になり、例会さえも開催出来ない状態で、ガバナー補佐として十分な責務が出来なかったことは、非常に残念でした。しかし、それ以上に花島ガバナーとガバナー関係者の皆様は、大変ご苦勞されたと思います。ただ第6グループとしまして、何とか IM は開催したいという思いで、一度は延期しましたが、4月18日にオンライン会議で、開催しました。当クラブの村瀬実行委員長始め、クラブ会員の全員で協力して、開催出来たことは大変有意義であったと思います。当日は花島ガバナーにもご出席していただき、千葉直前ガバナーご夫婦には、パネラーとしてご協力いただきました。第6グループのクラブ会員が全員登録、さらに各クラブより1人ずつパネラーも選出していただきました。やれない理由を探すのではなく、やれることを様々な角度から検討して開催できた今回のIMはおおいに自信になったと感じております。

まだまだ厳しい状況が続くなかではありますが、新しい形でのロータリー、あるいは企業の在り方を考えるチャンスだと思います。

「ロータリーは機会の扉を開く」更なるロータリーの成長と2740地区の発展を祈念申し上げ、1年間ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

ガバナー補佐退任挨拶



第7グループ ガバナー補佐 **高木 義和** (島原 RC)



駒井ガバナー時の晩餐会で花島ガバナー補佐ご夫婦と同席した時、その人柄を肌で感じ、今年度の第7グループガバナー補佐を拝命する事となり確固不拔の重責を抱く。

年度前、諫早 RC の例会場をお借りして PETS を、大村・雲仙に分けて地区研修協議会を開催し、重点項目に加えリモートやZoomの集会利用の大切さをお願いする。

7月/クラブ訪問を先駆けるも大村大雨で郡川の氾濫情報に現地視察に急ぎ向かう。

以降9月迄にクラブ協議会やガバナー公式訪問で戦略委員会やRLIの重要性を伝える。

8月/第1回目のガバナー補佐会議を積極的に開催。9月/1泊2日ファシリテートの講習に参加する。若きリーダーが集うを喜ぶ。第8グループ会長幹事会オブザーバー

出席。10月/バスに揺られて島原南RC観月会へ、第3回早朝RLI研修会に参加。11月/初の第7第8グループ会長会をフラッグス諫早に於いて開催、またIMについて同調を決定。12月/第2回ガバナー補佐会議開催、地区大会の縮小開催をお願いする。次年度米山奨学生選考面接会のオブザーバー参加を願い出る。新年1月/大村RCで園田市長、大村東RCで中村商工会会頭の懇談会卓話を拝聴。2月/ホストクラブより「IMは行わない」と..断念を各クラブへお伝え巡回する。諫早多良見RCで大崎高校野球部清水監督の卓話を拝聴。第8グループ会長幹事会IM断念報告。3月/RLI勉強会大村泊。市役所へ消毒液を私的寄贈。島原南RC観桜会へ参加。4月/大村北RC創立45周年、大村東RC創立25周年夫々の式典を祝う。佐古PGの基調講演を拝聴し自ら財を投げ大村の町を救った偉人に共感する。雲仙RCと島原南RC合併について会長幹事会を開催。

5月以降/新会員へ「回首原点」新刊配布、地区大会、6月次年度ガバナー補佐顔合わせを予定しこの一年を締め括ります。

大村北RCより「新刊回首原点」を頂戴し一年間愛読している。「今のロータリーはエネルギーがあるのか(H24.1)」と佐古先生は問われている。使命と精神を歪めずに意識を喚起して行動するロータリーを希求する。



第8グループ ガバナー補佐 **酒井 郁子** (諫早南 RC)



第8グループのガバナー補佐の酒井です。1年間会員の皆様には大変お世話になりました。特に、第8グループの会長・幹事をはじめとする会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。コロナ禍の中で、IM・合同例会・周年事業など全てできない残念な1年でした。各クラブの会長様は、例会の開催すら危ぶまれ悩まれた1年間で大変だったと思います。本当にお疲れ様でした。

そんな中で、第8グループでは、鎮西学院大学ジャズアンサンブルローターアクトクラブを立ち上げる事が出来ました。1月に認証をいただき、4月に認証伝達式を行いました。この意義深いローターアクトクラブは、共同提唱事業として4クラブ(諫早北クラブ・諫早西クラブ・諫早多良見クラブ・諫早南クラブ)で支えていく事となりました。素晴らしい事だと思います。ご尽力いただきました栗林バスターガバナー・千葉バスターガバナー・鎮西学院関係者の皆様に感謝申し上げます。

今年度国際ロータリー会長ホルガークナー氏のテーマ『ロータリーは機会の扉を開く』の三色の色の内、赤い色はローターアクトならテーマカラーです。設立できた事を嬉しく思い、今後ロータリーの中でローターアクトクラブが若きリーダーの育成に繋げていけるよう願っております。また、今後鎮西学院ジャズアンサンブルローターアクトクラブを皆様のクラブの事業などで演奏をさせていただければ幸いに存じます。1年間ありがとうございました。

ガバナー補佐退任挨拶



第9グループ ガバナー補佐 江上 徹也 (長崎西 RC)



花島ガバナー年度はコロナ禍と共にスタートしました。第1～3波を経て、本稿をしたためている現在（5月前半）は第4波のピークに向かっているようで、未だに終息の目処は立てられません。ロータリー活動も必然的に感染の状況に大きく影響された1年間でした。

新年度が始まる前の地区セミナー・協議会の中で実際に顔を合わせた会議が出来たのは2020/2/23のガバナー補佐研修会と地区チーム研修セミナーが最後で以後は多数の集会開催が困難になりました。苦肉の策として会長エレクト研修セミナーは各グループ補佐が主宰して小規模研修会（ミニPETZ）とする地区方針が示されましたので2020/4/19に4クラブの会長出席のもと長崎市で開催しました。第9グループに属する6クラブの中で福江、福江中央の2クラブは離島との人流抑制が勧められており五島に留まって地区から送られた教材（CD-Rと冊子）で自己研修して頂きました。会合では2740地区が遅れている戦略計画委員会の設置を花島ガバナーエレクトが新年度の重要目標としておられることを強調しました。

新年度の7月から数ヶ月はコロナ感染者数は小康状態で各クラブの例会も綱渡り状態ながら開催されており重要行事とも言うべきガバナー訪問と、その前週の予行演習的な補佐出席下のクラブ協議会は予定の日程で消化できました。地区大会がWeb参加になり「生の花島ガバナー」を拝顔する少ない機会になりました。

この1年間は各クラブ共会長、幹事、執行部はコロナ禍を横目にみながらのクラブ運営の連続で御苦労されつつ、会員増強を戦略計画委員会の活動に挙げておられるクラブが多いようです。

数少ない楽しい思い出は第9、10グループ合同のIM（長崎北担当）で講師の俳人夏井いつき女史の生の講義と久しぶりの他クラブロータリアンとの再会でした。早く多数の集会、懇親会が可能になり本来のロータリー活動が再開出来る日を待ちたいと思います。



第10グループ ガバナー補佐 原田 知行 (長崎中央 RC)



昨年6月ガバナー補佐就任以来、アツと言う間の1年間でした。

新型コロナ禍にあって、ロータリー活動もいろいろと制限を受け、例会や諸行事の中止などもあって十分な活動が出来ませんでした。幸い担当6クラブのクラブ協議会、ガバナー訪問は中止になることなく無事終了できたのは幸いでした。ガバナー補佐就任前、各クラブ訪問前にそのクラブの現況と独自の特徴ある活動内容などを把握し、事前にその報告書をガバナー事務所に随時提出するよう花島ガバナーより指示を戴きました。報告書を準備するのは大変でしたが、クラブ協議会、ガバナー訪問当日は非常に有用であり、次年度も継承されるべきお薦めの方法だと思います。

IMについては、他グループが中止を決定される中、ホストクラブである長崎北クラブの皆様のお力添えで、「IMは俳句の扉を開く」との大会テーマの元、TVでご活躍中の夏井いつき様を講師にお迎えし、新型コロナ第4波前に感染対策を徹底しハイブリッド形式で大盛況のうち開催出来たことは望外の喜びでした。ここにあらためて長崎北クラブ小林会長、小野原大会実行委員長をはじめとする実行委員会の皆様方のご英断とご尽力に忠心より御礼申し上げます。

今回ガバナー補佐を経験することで、ロータリー活動の意義を再認識するとともに、自分のクラブにはない他クラブの活動内容を確認出来たことは大変有意義な期間でした。各クラブの会長・幹事・会員の皆様、そして花島ガバナー・迎地区幹事および鹿島ロータリークラブの皆様方のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

新型コロナの早期の終息を祈念し、退任のご挨拶と致します。ありがとうございました。

地区委員長退任挨拶



ファシリテーション委員会 **吉岡 義治** (佐賀南 RC)



コロナ禍にもかかわらず、皆様のご協力を得て、RLIDL研修を敢行し、今年度、20名の新しいファシリテーター（DL）が誕生いたしましたことに感謝いたします。日本RLI研修リーダーを迎えての、当地区で初めてのRLIDL研修を開催できたことは、今後の当地区において、大変、意味のある有益なものになったと思います。

ロータリーのファシリテーションとは、例会活動が円滑に進むように、そして例会の成果を最大化できるように促進することです。

それにより、例会を盛り上げ、退会による会員減少を防ぐことにもつながると考えます。

また、RLI研修のゴールは、私たちひとりひとりの、ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立です。

地区として取り組み始めて2年目。RLI研修の準備はできました。

次年度より、正式にRLI委員会としてのRLI研修が本格的にスタートします。

そこで、会員増強における、増にふやすだけではなく、育てていって強めていくために、

今後も地区でRLIDL研修を行い、ファシリテーター（DL）を増やしていきます。

近い将来、各クラブの例会が、毎回、皆が活発な意見を出し、切磋琢磨して、己の限界を知り、自分の職業への転機を見出すことのできる場所になればと願います。

最後になりましたが、研修への、ご理解、ご協力を賜りました花島ガバナーに深く感謝いたします。



新RYLA検討委員会 **徳川 清隆** (唐津 RC)



新RYLA検討委員会委員長を退任するにあたりご挨拶を申し上げます。

今年度、新しいRYLA事業の目的や方向性を検討すべく委員会を開催しました。その事業目的を検討するにあたり、現在実施されているRYLA事業を踏襲することなく新しい事業の在り方を検討しその方法を模索することです。

基本的な考え方は、ロータリーファミリーを中心に置きそこに係る様々な人々が、新しいRYLA事業を通じロータリー精神に触れその良さを共有することが必要だと考えます。そして、関わった方々の人生が少しでも豊かになりうるような事業目的を掲げながら実施されることが重要点だと期待します。

そこでもう一つ大切なことは、この地区の青少年ファミリー（ロータアクト、インターアクトを中心に）が関わるように機会を提供することで、自分達も含め、将来の人間性を成長させるような事業となること、また、そこに係ったメンバーが、将来、ロータリーが提唱するプログラムに参加し有能な青少年リーダーとなる事を目指せるように検討したところです。今後は、実施に向けた準備に取り組むことになると考えます。

大きなビジョンを持ち、その目的を大切に、まずは小さな事業から発展・継続できる事を望んでいます。私たち委員会は、今年度一年間との期限が決められた委員会でしたが、この新しいRYLA事業を実施に向けて検討したことが、この地区におけるRYLA事業が更なる発展する事をメンバー一同切に願っております。

最後になりますが、これまでに、委員会を支えて戴きました地区委員の皆様、ご支援やご助言を頂きました千葉憲哉PG、関係各位、そして、委員会顧問の塚崎寛GEに感謝申し上げ退任挨拶といたします。有難うございました。

地区委員長退任挨拶



公共イメージ委員会

原田 徹 (雲仙 RC)



国際ロータリー第 2740 地区公共イメージ委員長の原田でございます。
委員長の重任を仰せつかって早 1 年が経過しようとしております。
皆様には大変お世話になりありがとうございました。

コロナ禍の影響で、予定していた活動がほとんどできないまま、1 年を終える状況は非常に歯がゆく、また心苦しく思います。

地区関係者や、他の委員会の皆様も同じ心境ではないかと慮る次第です。

各クラブにおかれましても計画されていた奉仕活動がままならない状況だったのではないのでしょうか。コロナ禍が落ち着きましたら、皆様で実践されている奉仕作業を広く地域に情報発信できるよう、次年度に向けて地区ホームページのリニューアル等を進めている最中でございます。まだ課題は多いですが、1 つずつ前進させていきます。

次年度も公共イメージ委員長を仰せつかっておりますので、引き続きロータリーの公共イメージ向上に関する活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1 日も早くコロナ禍が終息し、ロータリアンの皆様の日常が取り戻せることを祈念して退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



職業奉仕委員会

山本 正樹 (佐賀南 RC)



2020-2021 年度地区職業奉仕委員長退任に際し、まず皆様に職業奉仕委員会の活動にご理解とご協力、またご支援を賜りました事この場を借りて御礼申し上げます。新型コロナウイルスに始まり、まだまだ収束時期が不透明な状況ですが瞬く間の一年間でした。幾度か会員増強委員会との合同セミナーを企画しましたが集合形式であった為、コロナ禍での感染リスクを考え中止となり不十分な活動内容であったと感じています。そのような中でも職業奉仕月間の卓話で訪問卓話させていただいたクラブの方々には改めて感謝申し上げます。

ソーシャルディスタンスの遵守が求められ、対面による親睦や接触が制限される現在の状況に対応するべく 2740 地区も変化が求められています。

ソーシャルディスタンスが足枷になり例会やセミナーが出来ないのでは進歩がありません。

そこで Zoom を活用した RLI のファシリテーション形式のセミナー研修を出来るように地区の DL の方々と準備を進めてきましたので今後楽しみにしていただきたいと思います。

ロータリークラブの第一の真価は奉仕する人を育成し社会に寄贈する事だと考えます。

移動や接触の制限下でも可能な奉仕活動は何かを考え、成熟した多くのロータリアンを育成できるような職業奉仕委員会であり続けたいと考えております。

最後に地区委員長に推薦いただき、素晴らしい仲間との出会い、素晴らしい経験の機会を与えていただきより感謝申し上げます。挨拶に代えさせていただきます。

地区委員長退任挨拶



社会奉仕委員会

佐藤 誠 (諫早 RC)



2020-2021 社会奉仕委員会では、「社会奉仕活動を通して、ロータリーの公共イメージと認知度を向上させよう」をテーマに活動致しました。

活動方針 1. 「ロータリー奉仕デー」については、2020.9.15 付けにて、各クラブに今現在奉仕事業において、ロータリーの公共イメージ・認知度向上を目的として看板・ノボリ・チラシ・宣伝広告等で世間にアピールして頂く様にご協力をお願いを致しました。

活動方針 2. 「社会奉仕事業に関するアンケート集計報告書」を 2020.10.15 付けで、各クラブに配信する事が出来ました。

活動方針 3. 「ひとり親家庭支援」について、地区社会奉仕セミナー開催日を 2021.2.14 (日) に決定しましたので、皆様にセミナー開催のご案内を配信する直前に新型コロナウイルス感染拡大の防止の観点から社会奉仕セミナー開催中止する形を取らせて頂く事と致しました。今年度は社会奉仕セミナーが開催出来ず、とても残念でしたが次年度にそのまま移行していこうと考えています。

社会奉仕活動にご協力を賜りました多くのロータリアンの皆様方にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

同時に社会奉仕委員 6 名それぞれの職業で大変多忙な方々ですが音を上げる事無く最後まで尽力して下さいる事に感謝申し上げ、社会奉仕委員長の退任挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。



ローターアクト委員会

高松 茂信 (鹿島 RC)



本年度は正にコロナに始まり、コロナに終わると言った様な一年でした。その中でも代表の公式訪問例会が無事に終了しただけでも良しとおきたいと思っています。後は 4 月 24 日～ 25 日の二日間を要して佐世保のハウステンボスで、合同地区行事が開催されました。これは今までコロナ禍で地区行事が滞っていた為に、この二日間でいっぺんに消化してしまおうと言う苦肉の策でしたが、やむを得ない事だと思えます。

又同じ 4 月 24 日には、鎮西学院大学ジャズアンサンブルローターアクトクラブの認証伝達式が行われました。現在当地区のローターアクトは 4 クラブである為、これは大変喜ばしい事だと思えます。何でも鎮西学院ローターアクトは会員数 31 名と聞いており、現在既存 4 クラブのアクト会員数を合計しても 30 名程度なので、ざっと人数が 2 倍に増えるという事になり、これは当地区ローターアクトにとって一つ明るい材料と言えるのでは無いでしょうか。関係者の皆様におかれましては本当に感謝申し上げます。あと島原ローターアクトも復会されており、こちらはまだ活動には至っていない様ですが、元々実績のあるクラブ故に心配は要らないかと思えます。

それよりも課題は佐賀ではないでしょうか。現在佐賀は鹿島ローターアクトのみ活動しており、人口僅か 3 万人弱の田舎クラブ故にその基盤は薄いと言えます。佐賀地区ロータリーの皆様どうかローターアクトクラブにご理解とご協力の程お願い致します。呼んで頂ければいつでも参ります。

最後になりましたが私にとってのローターアクトとは、将来の日本を背負って立つ若者の活動の場だと考えております。彼等の中から世界に羽ばたくロータリアンが出現する事を期待しようではありませんか。

地区委員長退任挨拶



インターアクト委員会

長戸 和光 (牛津 RC)



今年度より、第 2740 地区インターアクト委員会の委員長に就任致しましたが、早くも 1 年が経過し、任期を終えることになりました。そこで、年度の終わりにあたり、ご挨拶申し上げます。

インターアクト委員会の主な活動は、従来、年に 1 度開催されているインターアクト年次他会の開催と、年に 2 度開催している指導者研修会の開催です。

しかしながら、今年度については、これらの活動については、コロナウイルス感染の終息がまったく見通せない中、地区内の高校生が集合して行う活動となることから、やむを得ず中止せざるを得ないこととなりました。

このため、委員会としての実質的な活動をまったく実施できないまま、1 年を終えようとしております。委員会も開催できず、委員の方々との交流もできないままで、委員長として、大変残念であるとともに、申し訳なく感じているところです。このような状況下での活動のあり方を模索し、実施することも考えられたところですが、自分にはそのような活動を導いていくだけの力がなかったことを痛感しております。

また、昨年度から導入したインターアクトクラブ活動認定制度については、本年度もいくつかの認定依頼がありましたが、それほど大きな広がりとはなりません。集合型の活動が行えない中で、これらの制度の周知を図る工夫も足りなかったと反省しております。

残念ながら、コロナウイルス感染については、変異株の蔓延もあり、終息どころか、拡大に向かっているのが現在の状況かと思えます。インターアクト活動は、その活動の内容上、このような社会状況の影響を受けることは必至ですが、このまま活動が下火になってしまわないように、今後も委員会としての活動を続ける必要があるものと思えます。

次年度の当委員会の委員長にも私が継続して就任することが決まっておりますので、最後に、次年度は本年度の反省を活かし、ウイルス感染状況を注視するだけで 1 年が終わってしまわないよう、活動のあり方を検討することをこの場で誓わせて頂き、退任の挨拶とさせていただきます。



国際青少年交換委員会

樋口 征司 (諫早南 RC)



2020-2021 年度の国際青少年交換プログラムは新型コロナウイルスが世界中に蔓延、拡大し余儀なく中止となりました。

例年ならば色々な国から数名のインバウンド学生が来日し日本語や日本の文化を学びオリエンテーションや色々なイベントに参加しに約一年の間日本を楽しんで帰国していきませんが、今年度はインバウンド学生がいない中日本から外国へ留学するアウトバウンド学生のみオリエンテーションを 1 年間行なってきました。

特にコロナウイルスの感染者が各地で多くなった時は zoom によるオリエンテーションや委員会の会議を行い工夫してきました。

アウトバウンドの学生全てが今年度留学できなくなりましたが学生の皆さんは次の年度に留学できることを期待してしっかりオリエンテーションにも参加し次に向けて勉強に励んでいましたが、ウィルスの変異株が今後どうなるかが不確定でまだ感染対策が一貫していないとの理由で 3 月 20 日に RI の理事会によるこの青少年交換プログラムは 2022 年 6 月 30 日まで一時停止との通知がきました。

しかし近々必ずこの交換プログラムが再開することを信じ学生のためにオリエンテーションを続けていきます。ご協力をいただきました各クラブのロータリアンの皆様に感謝を申し上げ私の退任のご挨拶とさせていただきます。一年間有難うございました。

地区委員長退任挨拶



RYLA 委員会

相浦 封哉 (多久 RC)



RYLA 委員会の相浦と申します。

退任にあたり今年度を振り返りますと、コロナ禍の影響により佐世保西 RC 主催の RYLA プログラムが中止となりました。

また「新 RYLA 検討委員会」との新体制へ向けての会合・協議もままならず、まだ具体的な今後の方針も出来上がってない状況です。

又、5月1日、山形で全国 RYLA 研究会が開催され、オンラインでの参加を余儀なくされましたが、全国の RYLA に携わるロータリアン・RYLA 学友の熱い想い、コロナ禍における今後の方針等、私自身勉強させて頂きました。

次年度は「新 RYLA 検討委員会」との統合により新体制となりますが、次年度も不肖私が委員長を拝命致しておりますので、コロナ禍の為まだ予断は許しませんが、RYLA の新たな具体的な指針を作り上げていきたいと思っております。

これをもちまして退任の挨拶にかえさせて頂きます。



ロータリー財団委員会

岡村 康司 (長崎南 RC)



2019 年度から委員長の職を拝命しました。

初年度は 2020 年 1 月初旬より佐賀長崎両県にもコロナ感染が始まり、同年 2 月に開催予定であった「補助金管理セミナー」、次年度の 2020 年 11 月の「財団セミナー」今年 2021 年 2 月の「補助金管理セミナー」の中止で委員会活動の大きな柱である 2 つのセミナーが開催できないまま 2 周目の任期を終了しようとしています。

セミナーの代替として補助金マニュアルの冊子を作成し、地区内各クラブに配布します。6 月までに配付を完了する予定です。

地区には 6 つの部門 (①クラブ管理運営②会員増強③公共イメージ④奉仕プロジェクト⑤ロータリー財団⑥米山記念奨学) その一角を担っているわけですがロータリー財団部門では、先ず補助金の資源となる寄付の勧奨や資金の管理を行う 4 つの委員会とその下で実働する 3 つの小委員会から成っています。いずれの委員会も全体での活動がコロナ禍の中でほとんどできませんでしたが、課せられた事業を最小限のメンバーで何とか消化してきました。

今年度は 17 クラブから地区補助金の申請があり年度末の 6 月にこの審査を行います。またグローバル補助金の奨学生は現在 2 名の方が申請されています。2 人共に他県在住のため面前での面接・選考に制限があることが予想されますが出来る限りの対応をして今年度の事業を終えたいと思っております。

コロナ禍の中の 1 年間お世話になりました。何もできませんでしたが次年度はさらに工夫を重ね活動の再開に努力していきたいと思っております。

地区委員長退任挨拶



補助金委員会

西川 義文 (大村 RC)



昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症流行により、社会生活も含めた企業活動や家庭生活でも多大なマイナス影響が出ました。もちろんロータリー活動に於いても例外ではなく、各クラブの地区補助金活動やグローバル補助金活動、奨学生派遣事業も多大な影響を受けました。

アメリカに位置するロータリー財団本部は、covid-19の世界各地での流行状況や補助金事業の停止等の状況把握が上手く機能せず、突然の通知や連絡が突然に沢山に排出され、地区補助金未実施クラブへは、covid-19により事業中止や延期或は事業内容の変更申請と承認等、各クラブにはご迷惑おかけしました。

確かに2740地区の裁量にて判断を任される部分も有りますが、変更を承認されるか否かは判断が難しいところもあり対処に苦慮いたしました。

いくつかのクラブは、コロナ感染症発生時の影響の大きさをクラブとしてやロータリアンとしての責任により、事業を中止された所も有りました。

コロナ感染症支援事業として、県や市の医師会等にマスクやフェイスシールド、防護服の提供を行ったり、市内複数クラブ共同で支援したり、医療従事者や留学生への食糧支援等の多様な奉仕事業を各クラブで行って戴き感謝申し上げます。

ただ、covid-19によるこのような例年にない状態が2021年春先まで続き、次年度の地区補助金申請案内が送れてしまい、重ねてお詫び申し上げます。

2018-19年度に承認されたグローバル補助金事業「ネパールにおける水と衛生問題に関する改善プロジェクト」は、完成間近だったがcovid-19により現地がロックダウンされ作業が中断され、完了報告が出来ないまま1年近く延期されました。

この事が、奨学生としてグローバル補助金でアメリカ・ミシガン大学医学研究施設に留学する賀来氏への奨学金が上記ネパールでの完了報告が出来ないとの理由で承認が遅れたり、地区補助金奨学生のソウル大学留学中の高氏は、Web上のみでの面接試験だったりとこれまでに無い経験が出来た貴重な1年でした。

また、日本・アメリカ・台湾等の多地区でのグローバル補助金支援として佐賀医科大学の協力を得てモンゴル、ウランバートルRCとの「肝炎予防・対策プロジェクト」やブラジルへ4590地区の病院へコロナ感染予防フェイスシールドを日本国内8地区の共同事業としてグローバル補助金事業を遂行しました。

最後に最近のニュースとして、佐賀RC香月会員を中心とする地区内メンバーで2014年に2740地区グローバル補助金事業として行った「モンゴルにおける口蓋口唇裂治療と指導」としてモンゴルの国立母子小児病院の先生方への治療指導を、更に私費や地区補助金一部を活用し、計4年以上関わって築いたリソースとして、モンゴルの同病院のアヤンガ博士と彼のチームが「モンゴルの口蓋口唇裂の先天性欠損症の包括的な治療ソリューション」に対してモンゴル大統領から国最高の賞を授与されたとのことです。アヤンガ博士と彼のチームを訓練するための香月会員と2740地区参加メンバーの専門知識とコミットメント、そしてこの成果への多大な貢献を祝福したいと思います。との嬉しい便りも紹介して1年間の補助金委員長としての御礼とさせていただきます。

地区委員長退任挨拶



資金推進委員会

永尾 竹則 (佐賀西 RC)



日ごろから第 2740 地区の各クラブの皆様には、ロータリー財団の補助金活動に多大なご協力とご理解を頂いておりました大変感謝申し上げます。充実した補助金活動を実施できるのも皆様からのご寄付があるからこそです。もっとも、今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、ロータリー財団における奉仕活動の意義をお伝えしたり、そのためのご寄付のお願いをするなどが十分にできないまま 1 年が過ぎてしまい大変申し訳なく感じております。

新型コロナウイルスの影響で経済活動が思うようにできない情勢の中で、皆様にご寄付をお願いするのは大変心苦しいところではございましたが、例年と変わりなくご寄付を頂きまして、大変感謝申し上げます。また、常日頃からロータリークラブにおける奉仕の理念を十分ご理解されている各クラブの会員の皆様におかれましては、新型コロナ感染拡大により活動が制限された中においても可能な形で奉仕活動をされて来られて頭の下がる思いでいっぱいです。

今年度初めにお願いしておりましたポリオ関連の行事として、例えば月 1 回ワンコイン運動をして頂くなど多くのクラブで工夫しながら実施して頂きましたし、寄附金『ゼロ』クラブ『ゼロ』も今年度達成することができました。特に、ポリオは撲滅までアフガニスタンとパキスタンの 2 か国を残すだけとなりました。ここで気を緩めると再び感染が広がる可能性も秘めていると言われております。今後もポリオ根絶に向けて活動を継続して行けるよう引き続き会員の皆様のご寄付をお願い申し上げます。もちろん、補助金活動等のためのご寄付や米山奨学会へのご寄付も引き続きお願い申し上げます。

私は、資金推進委員長を退任させていただきますが、今後は、一会員として奉仕活動に積極的に関わって行きたいと思っております。皆様におかれましては、引続き財団活動並びにご寄付へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



ポリオプラス委員会

上田 康雄 (長崎北 RC)



三年間お世話になりました。今期でポリオプラス委員会委員長を辞任します。

ポリオは 1988 年には世界 125 カ国において年間 35 万例が発生していました。ポリオプラスなどの活動により 99.9% 減少し、2020 年ナイジェリアでの撲滅が宣言されてアフリカでは野生型ポリオの発生はありません。残るはアフガニスタン(2020 年 56 例)とパキスタン(2020 年 84 例)の二カ国となりました。

ここで手を緩めると、感染力が非常に強く、不顕性感染が多いポリオはあっという間に全世界に広がってしまいます。もう少しです、今後とも引き続き、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

地区委員長退任挨拶



資金管理委員会

喜多 清基 (島原 RC)



ロータリー財団は、ロータリアンの自発的寄付により運営されています。財団の補助金制度により、人々の健康状態改善、教育支援、貧困救済に努め、世界理解、親善、平和を構築する活動を行うことができます。2013年に「ロータリー財団未来の夢計画」が発令され、我々が関心を持つ世界の主要なニーズの中で持続可能で大きな成果が期待できる奉仕活動に焦点を絞りました。

そこで世界的目標と地元の目標の両方に取り組むことになり、地区とクラブに多くの決定権が与えられ地区に多くの権限を移譲されました。とはいえ、肝腎な、申請した事業にお金を出すか出さないかの決定権はアメリカ、エバンストンの財団本部にあります。

権限を移譲するという言葉は素晴らしいのですが、権限を移譲された側の地区財団委員会は大変で、仕事量、雑用が大幅に増えてしまいました。

その中で、当 2740 地区では、歴代委員長さんたちのもとで、多くの事業が遂行されてまいりました。世界レベルでは、【モンゴルでの兎唇口蓋裂オペ】【ネパールでの水と衛生】【スリランカでの教育事業】【チェルノブイリ原発事故によるベラルーシの人々の被ばく影響】【コロナ禍による face shield 配布】【海外大学大学院への留学、奨学金事業（アメリカ、イギリス、フランス、カナダ、オランダ・・・）】【JICA マダガスカル視察】

地元レベルでは、【毎年各クラブから申請を頂く 20 超の地区補助金による事業】などが推進されているところです。このような事業を実行することによって、ロータリーの公共イメージがアップして、さらに会員増強へ繋がれば良いと考える次第です。

このようなグローバルな素晴らしい委員会で研鑽を積ませて頂いたことに感謝して退任の挨拶とさせていただきます。



米山記念奨学委員会

松田 洋一 (諫早北 RC)



2020-2021 年度花島ガバナーの下、米山記念奨学委員会地区委員長を務めさせて頂きました。

ロータリアンの皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大の大変な状況の中、米山記念事業をお支え頂きまして誠に有り難う御座います。また、花島ガバナー、迎地区幹事、地区委員の皆様には、お世話になりました事に、厚くお礼を申し上げます。

今年度は、4月の米山奨学生とカウンセラーのオリエンテーションが、コロナ禍のため一緒に出来なかったり、7月の研修旅行が延期になったりして、カウンセラーの皆様におかれましては、奨学生との親睦が取りづらくて大変ご苦労された事だと思います。また、

6月に予定していた次期クラブ会長、幹事、米山委員長のオリエンテーションは、多人数になるため会場の収容率の問題で、残念ながら中止致しました。そのため、奨学事業の理解・推進を伝える機会が出来ませんでした。

9月～11月にかけての奨学生の出前卓話は、56クラブ中12のクラブには卓話DVDを作成し送らせて頂き、後の44クラブには、出前卓話を実施しました。そして、7月開催予定の研修旅行を11月に開催する事とし、それまでに行く地域の感染状況やコロナ禍による影響等を十分に確認して（当時は大分県で感染0でした）、大分県に奨学生12名・カウンセラー3名・地区委員6名で行ってきました。この頃から、やっと奨学生同士やカウンセラー・地区委員との親睦が深まったのではないかと思います。その後の事業も会場等の感染予防対策をしながら進めていき、最後の修了式は、思い出のアルバムDVDを皆で見て感動をした次第であります。今後、修了した奨学生が学友会の一員として、将来を切り開いていく事を期待します。

最後にこの米山奨学事業は、56クラブのロータリアンの皆さんの浄財の基に成り立っていますので、今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。次年度も、米山記念奨学委員長を務めさせていただきますので、引き続きご支援の程宜しくお願い致します。

2020～21年度 RI2740 地区第9・10 グループ IM報告

第10グループガバナー補佐 原田知行 (長崎中央RC)

新型コロナ禍による緊急事態宣言が解除されたのも束の間、変異株による流行拡大で第4波の兆しが見え隠れする中、令和3年3月28日ホストクラブ長崎北RCのお世話によりハイブリッド形式で、句会ライブが開催されました。大会テーマ『IMは俳句の扉を開く』は、今年度RIのテーマ『Rotary Opens Opportunities: ロータリーは機会の扉を開く』に因んだ非常に的を射た素晴らしいネーミングであり、ニュー長崎ホテル大広間の会場およびリモートでそれぞれ200名を超える多数の会員が参加。検温、手指消毒、充分過ぎる程の間隔で椅子が配置されるなど徹底した感染対策のもと開演し、講師であるTV「プレバト!!」などで活躍中の夏井いつき先生が登壇。TV番組の裏話を交えながら、予備知識として俳句に関する約束事や季語+12音で考える簡単な俳句の作り方などを教授された後、「OK!」或いは「OK?」というお題を挙げ5分間で会場参加者全員に投句を促されました。会場入室時には既に椅子の上に投句用の用紙が置いてあり、小生も事前に考えてきた俳句を記入していましたが、突然のお題で白紙状態に戻して句を考えることになりました。投句後の休憩時間中に檀上で夏井先生が全員分をチェック、印象に残った数句を紹介の後、最終的に選ばれた特選7句について、一句一句会場参加者に感想や意見を聞きながら解説され熱弁をふるわれました。最後に参加者の多数決により最優秀句として、長崎中央RC長澤和彦さん作「春の夕 しらふで帰る 退職日」が選ばれ終演となりました。TVでお馴染みの切り口鋭いズバリ物申す軽妙な語りで会場の全員を釘付けにし、居眠りする者も皆無でアツという間の楽しい2時間半でした。

コロナ禍にあって多くの生活様式が様変わりし、ロータリー活動も例会や各種行事の中止や縮小など様々な影響が出ています。例年当地区ではIMは2月に開催していますが、今年1月頃は第3波の流行状況からIM開催が危ぶまれ、2740地区でも多くのグループがIM中止の決定をする中、今回のホストクラブである長崎北クラブの小林会長さんをはじめ小野原IM実行員長を中心とした実行委員会の皆様方のIMに対する熱い想いが今回の開催を可能にしたと言っても過言ではありません。また、感染対策としてハイブリッド形式での開催となり、例年にない余分な労力と時間を割いて戴くこととなりました。昨年の相当早い時期から3月末開催を決定された長崎北クラブの皆様のご英断とご努力に対し心より感謝申し上げたいと存じます。

以上、簡単ですがIMの報告とさせていただきます。



2021 学年度米山記念奨学カウンセラー・奨学生オリエンテーション

米山記念奨学委員 **牧 文春** (長崎西RC)

国際ロータリー 2740 地区の新年度のカウンセラー・奨学生のオリエンテーションが4月18日(日)諫早文化会館において、地区役員 駒井英基米山奨学会理事、宮崎清彰米山奨学会評議員、塚崎寛ガバナーエレクトをお迎えし厳重な消毒、体温、換気の中で無事、午前9時から午後3時まで総参加者48名で、すべての行事を終えることができました。

事業創設69年を経た奨学事業、巣立った後も交流が続いている素晴らしい事業に、細くても長い交流の輪を広げていきましょう。

日本と世界を結ぶ人づくり、事業のかなめはカウンセラーの皆さんです!



9:00	集合	
10:00	奨学生オリエンテーション	地区委員……本田 善彦 地区委員……水頭 知美
10:00	カウンセラーオリエンテーション	地区委員長……松田 洋一
13:00	開会	地区委員……高谷 信一
	国歌斉唱・ロータリーソング	地区委員……筒井 和彦
	役員及び参加者紹介	
	ガバナーエレクト挨拶	ガバナーエレクト……塚崎 寛
	米山奨学事業について	米山記念奨学会理事……駒井 英基
	奨学金授与	ガバナーエレクト……塚崎 寛
	学友会説明	学友会会長……趙 巧燕
	今後の予定	地区委員長……松田 洋一
14:30	記念撮影	地区委員……永田 章
15:00	終了	地区委員……本村 一

国際青少年交換委員会報告

国際青少年交換委員会 樋口 征司 (諫早南RC)

期 日 2021年4月25日(日曜日) 会 場 諫早文化会館

***オリエンテーション開催の件** 2700 地区はオリエンテーションを毎月変わらず開催している。
2740 地区も毎月開催する。

***本日保護者と生徒の気持ちを確認する。**

***オーバーエイジの件**

行けなかった生徒にはオーバーエイジを適応できないかをライジエムに相談。

この件に関しては、19日に全国の地区委員長でzoomミーティングを開催する事となった。

***次次年度の生徒の募集をどうするか**

辞退した生徒の人数分は補充すべきではないか。

募集は通常通りする事とする。(面接して必ず行けるとは限らないことを最初に伝える) 2022年7月以降

***6月に修了式をする**

改めて5月に募集をする。その時に改めて申し込みをするかどうか。

地区大会報告

【オンライン開催で無事終了】

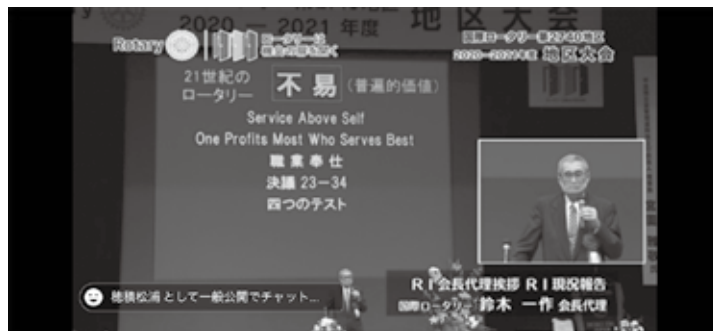
5月22日(土)、2020-2021年度地区大会が無事に開催されました。

コロナ禍の中、開催そのものが危ぶまれましたが、万全の感染対策を取りながら、初の「オンライン開催」となりました。

会場には来賓の鹿島市長樋口久俊様、RI 会長代理の鈴木一作様ご夫妻をはじめ、次回開催地の長崎中央 RC クラブ、佐賀 RC の会員だけが入り、いつもの地区大会とは一味違った雰囲気でした。

何よりも無事に終わることができたことに感謝します。

ご協力頂いた皆様、ご視聴頂いた皆様、大変ありがとうございました。



親子ロータリアン対談

RC 会員 親子ロータリアンに聞く

ロータリークラブの魅力に迫りたいとのガバナーの意向でロータリークラブに親子で在籍されている方々に、ロータリーや会社そして地域との関係についてのお考えなどを、アンケートの形で聞かせて戴きました。世代間の価値観の格差が大きいと言われる現代にあって、ロータリーを通じ、世代を超えた価値観共有のヒントがあるかもしれません。是非、ご一読ください。

(質問内容)

- ①自社の業種・経歴をお聞かせください。
- ②入会された時期、その時の理由又はきっかけをお聞かせください。
- ③入会前後のイメージに違いはありましたか。
- ④会社は地域とのスタンスをどのように捉えていらっしゃるのかをお聞かせください。
- ⑤その他

(ご回答)

1. 大神 邦明 君 (親) : 佐世保 RC
大神 吉史 君 (子) : 佐世保 RC



①親：邦明

【入会当時】大新技研株式会社 ソフトウェア開発・設計を主業務 1974年創業

【現在】大新技研株式会社 取締役会長

子：吉史

【入会当時】アドウィン株式会社 大新技研グループとして大新技研製ソフトウェアの客先お問い合わせサポートを主業務ならびにハード購買を担当 1996年6月創業

【現在】大新技研株式会社 代表取締役社長
アドウィン株式会社 代表取締役会長

②親：邦明 1985年5月に同クラブ「故 石井千里」会員より入会を勧められる。

子：吉史 2014年1月に入会

なお、24歳～30歳までローターアクトに入会していた経験があり 推薦者の「石井正剛 会員」「梅村良輔 会員」より入会を勧められました。

③親：邦明 入会時は何事も想像外の事ばかりで、3年目では退会を考えました。

しかし紹介者の強い説得の言葉で会員を続け36年となりました。

子：吉史 ローターアクトの経験があり、入会後の新入会員研修を2回受けていろいろと学習させていただいたので違いなどの変化はありません。

④親：邦明 ソフトウェア開発販売としては全国での活動となり、地域との関係は雇用を重視して若い人及びユータン者に力点を置いています。

子：吉史 周辺地域(県内)のお客は少なく、全国並びに国内のお客を通じてアジア圏内に商品の販売とお客からのシステム操作に関するサポート業務、並びに大新技研並びにアドウィンの営業サポートなどを主にやっております。

⑤親：邦明 地域の若い人又事情が有りユータンした人が全国でも一流の他に負けぬシステム商品を送りだしている。

(ご回答)

2. 安部 直樹 君 (親) : 佐世保 RC
安部 雅隆 君 (子) : 佐世保 RC



①安部直樹：学校法人九州文化学園の理事長です。

安部雅隆：学校法人九州文化学園の法人本部長です。

②安部直樹：33歳の時(1978年)入会しました。その前にRACに在籍していましたので、それが入会のきっかけです。

親子ロータリアン対談

安部雅隆：35歳の時（2017年）入会しました。父からもそうですが、昔から親交がありお世話になっていたロータリアンの方々に誘っていただいたことがきっかけとなりました。また、佐世保 RC では家族会が毎年年末に開催されており、そこに幼少時から参加させてもらっていたことで、なんとなく RC の雰囲気も理解していました。それも結果的には入会に際して大きな要因になったと思います。

③安部直樹：特にありませんでした。RAC 在籍時にすでにロータリーの方々とはお付き合いがありましたので、ロータリーのイメージは明らかでした。

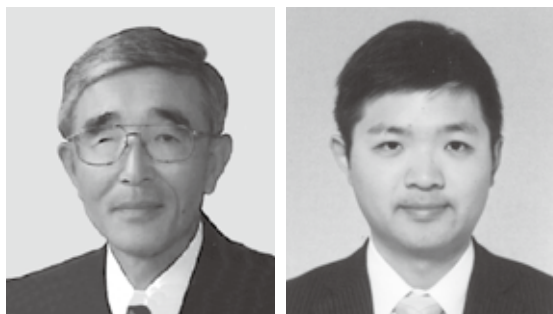
安部雅隆：クラブ内が、いい意味で「フラット」である点はイメージと異なりましたね。入会前は体育会系の組織風土が強いのではと多少不安視していましたが、クラブによる部分もあるかと思いますが、少なくとも本クラブは入会仕立ての会員や若手会員がロータリーの業務や例会出席を強制する慣習は全くありませんでした。

④安部直樹：学校経営ですので、あらゆる機会を捉えて地域との密着度合は濃いものがあります。地域貢献が学園の理念です。

安部雅隆：父の言う通り、本学園は地域貢献を大切にしています。学園としてどのような取組みを行うにしろ、地域に有益なものか否かが重要な判断基準になっています。結果、学園創立以来、多少なりとも地域に貢献できている自負はございますが、今後ともますますその貢献度を高めていきたいと親子とも意欲を燃やしております。

（ご回答）

3. 福田 金治 君（親）：佐世保 RC
福田 金吾 君（子）：佐世保 RC



①株式会社福勇商店を営んでいます。1914年に前身である福勇組を創業、1956年に株式会社福勇

商店を設立しました。港湾荷役、海陸運輸、石炭・石油の仕入販売、コンクリート、ガス関係事業等を経て、現在は不動産管理及び貸家業を主として営業中です。

②福田金治：父が佐世保 RC の会員でしたので、推薦を受けて 1977 年 5 月 4 日に入会いたしました。

福田金吾：2017 年 4 月に入会させていただきました。会社の代表を交代したという時期でもありましたので、一つの大きなきっかけだったかと思います。

③福田金治：佐世保 RAC に在籍しておりましたので、RA 時代に佐世保 RC の会員の皆さまと交流があり、すぐに慣れることができました。

福田金吾：幼少時より生活に溶け込んでおりましたので、特に違いなどは感じませんでした。

④会社は雇用している社員の生活を保証することが第一です。さらに会社が発展すれば、取引先の業績に貢献できます。以上の 2 つを行うことで会社が地域のために役立っていると思います。

（ご回答）

4. 中島 祥一 君（親）：佐世保 RC
中島 顕 君（子）：佐世保 RC



①中島祥一：機械修理業です。

中島 顕：機械メンテナンスです。

②中島祥一：1984年9月、会員の方からのお誘いがきっかけです。

中島 顕：2020年7月、草津氏からのお誘いがきっかけです。

③中島祥一：別にイメージの違いはありません。

中島 顕：同じです。

④違和感なく業務を行っています。

2021年3月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	80.0	74	5	73	5	0	3	-3	-1
	小城	4	54.4	27	3	28	3	0	0	0	1
	牛津	3	93.8	33	1	33	0	1	0	1	0
	多久	4	70.7	37	4	38	4	1	0	1	1
	佐賀大和	3	65.3	25	5	25	5	0	0	0	0
	小計		72.8	196	18	197	17	2	3	-1	1
第2グループ	佐賀西	3	77.7	41	3	38	3	0	3	-3	-3
	佐賀北	4	68.1	43	2	43	2	0	1	-1	0
	佐賀南	4	68.4	38	3	39	3	1	0	1	1
	神埼	4	78.1	36	3	36	3	0	0	0	0
	佐賀空港	3	65.0	18	1	20	1	0	0	0	2
	小計		71.5	176	12	176	12	1	4	-3	0
第3グループ	有田	3	77.7	32	2	31	2	0	0	0	-1
	武雄	5	86.2	49	4	50	3	0	2	-2	1
	鹿島	4	92.4	31	4	32	4	1	1	0	1
	嬉野	0	0.0	24	1	24	1	0	0	0	0
	大町	4	62.5	14	0	14	0	0	0	0	0
	太良	4	94.5	10	0	9	0	0	0	0	-1
小計		68.9	160	11	160	10	1	3	-2	0	
第4グループ	唐津	3	92.4	61	0	60	0	1	1	0	-1
	伊万里	0	0.0	28	0	30	0	0	0	0	2
	唐津東	3	82.8	50	0	50	0	1	0	1	0
	唐津西	5	90.6	35	0	33	0	0	0	0	-2
	伊万里西	0	0.0	37	0	37	0	0	0	0	0
	唐津中央	4	100.0	36	4	37	5	0	1	-1	1
小計		61.0	247	4	247	5	2	2	0	0	
第5グループ	佐世保	3	72.7	73	0	77	0	1	2	-1	4
	平戸	4	77.5	26	2	26	2	0	0	0	0
	北松浦	4	88.6	24	0	24	0	0	0	0	0
	佐世保西	0	0.0	19	3	19	2	0	0	0	0
	松浦	5	81.4	25	1	28	1	0	0	0	3
小計		64.0	167	6	174	5	1	2	-1	7	

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は7月1日から2021年3月末までの増減です。

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第6グループ	佐世保南	0	0.0	58	0	60	0	0	1	-1	2
	佐世保東	1	79.1	25	0	24	0	0	0	0	-1
	佐世保北	2	100.0	39	2	40	2	0	1	-1	1
	佐世保中央	4	83.0	47	1	49	1	0	0	0	2
	佐世保東南	5	63.0	37	0	38	0	0	0	0	1
	HTB佐世保	4	77.2	21	2	22	2	0	0	0	1
小計		67.0	227	5	233	5	0	2	-2	6	
第7グループ	大村	3	83.0	46	4	43	3	0	1	-1	-3
	島原	4	86.2	26	2	28	2	0	0	0	2
	雲仙	2	68.8	11	0	10	0	0	0	0	-1
	大村北	5	89.8	24	1	25	1	0	0	0	1
	島原南	3	47.0	18	1	19	1	0	0	0	1
	大村東	5	81.4	38	4	37	4	0	0	0	-1
小計		76.0	163	12	162	11	0	1	-1	-1	
第8グループ	諫早	4	72.1	73	0	73	0	0	1	-1	0
	諫早北	3	77.5	72	3	79	4	0	0	0	7
	諫早西	4	98.4	45	0	46	0	0	0	0	1
	諫早多良見	4	84.4	34	0	33	0	0	0	0	-1
	諫早南	2	84.4	14	9	16	9	1	0	1	2
	小計		83.4	238	12	247	13	1	1	0	9
第9グループ	長崎	4	87.0	67	0	65	0	1	4	-3	-2
	福江	3	76.9	31	0	31	0	0	1	-1	0
	長崎北東	4	81.6	38	1	37	2	0	0	0	-1
	福江中央	4	86.4	17	0	16	0	0	0	0	-1
	長崎西	4	79.4	40	1	39	1	0	1	-1	-1
	長崎琴海	3	76.2	10	0	8	0	0	0	0	-2
小計		81.3	203	2	196	3	1	6	-5	-7	
第10グループ	長崎北	5	88.4	73	0	74	0	0	7	-7	1
	長崎南	4	77.4	70	0	68	0	0	2	-2	-2
	長崎東	4	82.7	39	2	42	2	1	0	1	3
	長崎みなど	3	82.4	31	1	30	1	0	1	-1	-1
	長崎中央	4	93.0	48	0	46	0	0	3	-3	-2
	長崎出島	4	76.3	70	11	72	11	1	1	0	2
小計		83.4	331	14	332	14	2	14	-12	1	
56クラブ合計			72.9	2,108	96	2,124	95	11	38	-27	16



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりましたの方々をご紹介します。 ※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。



牛津 RC
大屋 博幸 君
ビッグライフ
代表



多久 RC
金ヶ江 和文 君
杉の子保育園
園長



佐賀南 RC
清原 雅利 君
清樟不動産鑑定所
代表



鹿島 RC
田口 和人 君
(株) ひぜん
会長



唐津 RC
原崎 孝徳 君
いちよし証券 (株) 福岡支店
プラネットプラザ唐津 支店長



唐津東 RC
平田 憲市郎 君
(株) クラベル・ジャパン
代表取締役社長



佐世保 RC
永瀬 徳豊 君
長崎新聞社佐世保支社
支社長



諫早南 RC
菅野 和也 君
(株) クオリティー
代表取締役



長崎 RC
山田 康明 君
長崎県民共済生活協同組合
代表理事 理事長



長崎東 RC
渡邊 悦治 君



長崎出島 RC
阿字野 仁 君
(株) データウェーブ
代表取締役



物故者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



唐津西 RC
濱口 睦宏 君
(享年 83 歳)

寄附者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団		
種類	氏名	クラブ名
マルチプルポールハリスフェロー	花島 光喜	鹿島
	米田 均	唐津中央
	小溝 忠徳	諫早北
	菖蒲 公治	諫早多良見
ポールハリスフェロー	牧瀬 正和	佐賀大和
	脇山 広孝	唐津中央
	大西 康之	唐津中央
	関 泰司	諫早
	宅島 寿孝	諫早北
ベネファクター	小川 誠	佐世保南

米山記念奨学会		
種類	氏名	クラブ名
米山功労者メジャードナー	朝永 春郎	松浦
	小川 春彌	長崎南
米山功労者マルチプル	武部 勝海	松浦
	小溝 忠徳	諫早北
米山功労者	関 泰司	諫早
	久保 元治	諫早

ふるさと鹿島の原風景



国道 444 号（しあわせ街道）と多良岳横断林道

長崎県大村市へ通じる国道 444 号（しあわせ街道）は、きれいに整備され、今や快適なドライブコースである。中木庭ダムを過ぎると、幾重にも重なる山々の緑の中に吸い込まれるような道が続く。国道 207 号から分岐すると大村市まで信号もなく一気に走れる。ここは林道との交差点である。

編集後記

総集編を残し、本年度最後の月信となってしまいました。このコロナ禍に在りながらも、前向きに希望をもって、奉仕されたすべてのロータリアンに敬意を表します。花島ガバナーのもと、月信という手段で「会員の皆様と何を共有し、そしてどのようにロータリーに活かせるか」を模索した 1 年でした。今年はオンラインでの地区大会となりましたが、また皆様と笑顔でお会いできる日を楽しみに、次年度へバトンを渡したいと思います。ご拝読有難うございました。

第 2740 地区ガバナー事務所

〒849-1315 佐賀県鹿島市大字三河内甲 290-7
TEL : 0954-69-1705 FAX : 0954-69-1706
E-mail : ri2740hanashima@athena.ocn.ne.jp
URL : <http://www.d2740.org/>